

誰一人取り残されない「学びの保障」を目指して ～校内教育支援センター～

子ども達は成長の過程で、悩みや不安を抱えることがあります。その中で「学校へ行きたくない」という気持ちが生まれることは、決して特別なことではありません。不登校は、いつでもどの子どもにも起こりえます。

市内でも様々な理由で学校に登校できない、または教室に行きづらいと感じる子どもがいます。そこで、学校生活の中で不安や悩みを抱える子ども達が安心して過ごせる場となる「校内教育支援センター」を市内中学校に設置しています。



校内教育支援センターとは？

学校生活の中で時には「教室に入りづらい」「自分のペースで静かに学習したい」と感じる時期があるかもしれません。そうした子ども達の心に寄り添い「学校の中にもう一つの安心できる居場所」を確保することを目的としています。



教室には先生がいるの？

校内教育支援センターには、生徒の皆さんの困り感に寄り添う先生が常駐し、支援します。

どんな生徒が利用できる？

不登校の生徒や登校する意思があるのに、教室に行きづらい生徒が利用できます。一時的な感情の高まりを落ち着かせたいときに、利用することもできます。

校内教育支援センターにはどんな役割があるの？

個別の学習支援

自分で学習計画を立て、タブレットなどを活用し、自分のペースで学習を進めます。

不安の解消

静かな環境で読書したり、困り感を相談したりすることで、心の安定を図ります。

柔軟な登校スタイルの提案

自分の体調に合わせた登下校など、スモールステップで学級復帰を目指します。

校内教育支援センターに登校すると出席になるの？

校内教育支援センターへの通室は「出席扱い」となります。「出席扱い」とは「出席」と意味が少し異なり「欠席ではない」という意味です。通知表や高校受験などで利用する調査書には「出席扱い（教育支援センター○日通室）」と記載します。



子どもが「学校に行きたくなさそうだ…」のサインを感じたら

朝、なかなか起きられなくなったり、学校のことを話したがいなくなったりするとき、子どもは小さな悩みを抱えているかもしれません。教室のざわざわした音に疲れてしまう子どももいます。子どもが「小さなSOS」を発信したとき、その行動を責めるのではなく、どうしてそのような行動になったのかと寄り添う姿勢が大切です。

